

英語教育推進事業

平成25年度予算要求額 172,548千円(平成24年度 152,746千円)

〔堺市の現状及び課題〕

- 学力において、依然として2極化傾向が見られる。
- 学習した基本的な表現を実際の会話に活用している生徒が少ない。
- 学習意欲を高める機会や場が十分ではない。

➤子どもが英語を活用できる場の確保・充実(新規)

13,796千円

※学びの診断より
「英語の授業で習った表現を用いて実際に話をしている」生徒が4割以下

- ◆イングリッシュ・デイ(英語村)
- ◆海外短期留学体験(15日間)
 - ・中学生20名を派遣
 - ・中学校英語科教員7名を英語教授研修派遣

➤評価及びPDCAサイクルの確立(新規)

4,125千円

判定テスト(中学校3年 500円×7,500人)
(研究校1・2年 500円×850人)

※生徒に求められる英語力の達成状況を把握・検証する必要性
〔国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策〕より〕

- ◆英語能力判定テスト(中3及び研究校の1・2年)
- ◆スピーキングテストの実施
⇒研究指定校での研究・実施

➤授業改革(拡充)

1,366千円

※英語による英語の授業

➤教員の指導力・意識改革(拡充)

830千円

- ◆中学校研究指定校 2校⇒7校(各区に拡充)
- ◆小学校研究指定校(新規2校) 小3からの外国語活動の研究
- ◆英語教育リーダー教員育成研修
- ◆若手教員育成研修

〈堺市の英語教育の目標〉
異なる国や文化の人々と英語をツールとして円滑にコミュニケーションを図ることができ、能力の育成

NS(ネイティブ・スピーカー)の配置 152,431千円(現状維持)

＜小:5・6年各学級年間10H 中:2学期間配置 高:ALT年間配置＞